





特筆すべき種のカテゴリーとその変更理由

<p>和名 シラタマホシクサ</p>	
<p>カテゴリー 情報不足(DD)→絶滅危惧Ⅱ類(VU)</p>	
<p>東海地方の湿地に生育するホシクサ科の1年草である。市内には一箇所にのみ生育していることは知られていたが、自生かどうか疑問視されていた。近年の調査で自生であることが有力になった。生育地が非常に限定しており環境変化による影響が懸念されるため絶滅危惧Ⅱ類に選定した。</p>	
<p>和名 シロバイ</p>	
<p>カテゴリー 絶滅危惧IB類(EN)→絶滅危惧ⅠA類(CR)</p>	
<p>ハイノキ科の小高木で県内では岡崎市の1箇所にのみ生育する。自生かどうか疑問視されていたが近年の調査で自生であることが有力になった。樹勢はよいが、生育環境が極めて限定していること虫害が懸念されることからランクアップした。 なお、本種を平成29年に岡崎市の指定希少野生動物植物種に指定した。</p>	
<p>和名 ニホンイシガメ</p>	
<p>カテゴリー 準絶滅危種(NT)→絶滅危惧Ⅱ類(VU)</p>	
<p>日本固有種のカメであり、市内では矢作川や乙川を始め多くの水域で確認されている。しかし、近年ペット用の乱獲や、人為的干渉による生息場所の消滅や環境悪化、外来種との競合より個体数が急激に減少しているため絶滅危惧Ⅱ類に選定した。</p>	
<p>和名 ミカワサンショウウオ</p>	
<p>カテゴリー 新規指定→絶滅危惧ⅠA類(CR)</p>	
<p>平成29年に新種に指定された三河地域固有のサンショウウオである。市内でも生息が確認されたが、個体数が極めて少なく生息地域も限定的であるため絶滅危惧ⅠA類に指定した。なお、本種は平成30年に愛知県の指定希少野生動物植物種に指定された。</p>	